

# 平成21年度高鍋町事務事業評価表

## ◎事務事業の概要

事務事業名	特別展事業				開始年度	20年度	
基本目標	芸術文化の振興				終了年度	20年度	
担当課(局)	社会教育課(美術館)	担当係	総務学芸係	記入者	小森 隼	評価者	田中 隆吉
20年度決算	2,637	千円	21年度予算	3,011	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	2,875 千円		21年度人件費	2,913 千円		事業従事者数	0.40 人 0.40 人

## ◎事務事業の目的・内容

事業の目的	地域の芸術文化の発信地としての役割を果たす。
事業の内容	「米倉齊加年の世界展」を開催。俳優として有名な米倉齊加年氏の絵師としての一面に迫る展覧会。絵本原画、肉筆画、写真パネル等80点以上を展示し、町内外を問わず広く県民を対象に紹介。

## ◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 観覧者数	観覧者数の増加で、より多くの人に芸術に親しんでもらう。
	2 観覧料収入	観覧料収入の増加で、特別展開催に係るコストを相殺する。
	3 グッズ売上収入	観覧者のより一段の楽しみと売上向上
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動数	県内の美術館や各報道機関へチラシ・ポスター等の配布
	2 関連イベント開催数	展覧会開催に伴う講演会等の開催
	3 取材依頼数	新聞記事やテレビ等での報道依頼

## ◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	観覧者数	目標値	2,500	2,000	2,000	
		実績値	5,224	2,779		
		達成率	209.0%	139.0%		
	観覧料収入	目標値	円	1,500,000	1,000,000	1,000,000
		実績値		2,563,300	1,083,700	
		達成率		170.9%	108.4%	
	グッズ売上収入	目標値	円	500,000	500,000	500,000
		実績値		806,796	290,671	
		達成率		161.4%	58.1%	
活動指標	広報活動数	目標値	回	2	2	2
		実績値		2	2	
		達成率		100.0%	100.0%	
	関連イベント開催数	目標値	回	2	2	2
		実績値		1	2	
		達成率		50.0%	100.0%	
	取材依頼数	目標値	回	1	1	1
		実績値		1	1	
		達成率		100.0%	100.0%	

## ◎事務事業の評価

妥当性(必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	平成11年11月の開館を記念して、毎年11月に開催する美術館最大の目玉となる展覧会である。この特別展により、美術館を内外に強くアピールする必要がある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	町外からの観覧者が多数おり、美術館のみならず、商店街や飲食店にも経済波及効果があると思われる。グッズの種類が前年の3分の1程度で、売上が大幅に減少した。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	今回はテレビCMを行わず、新聞広告の回数を若干増やしたことで、経費の抑制になったが、観覧者は大幅に減少した。展覧会の内容にもよるが、広報の充実を図りたい。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	ボランティア等を募り、監視や説明を行ってもらうことは可能である。

事務事業名	特別展事業	担当課(局)	社会教育課(美術館)
-------	-------	--------	------------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	一応の目標は達成できたように思われるが、宣伝費等の削減により、十分な周知が出来ず、入場者の伸びも予想を下回った。収入を上げるためには、十分な宣伝が必要であり、その財源を確保したい。	今後の方向性				
			拡充		○		
			現状維持				
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎知名度で観客が増えるのならば、ある程度予算をかける方が良いかとも思う。
	コスト	現状維持	